

質 問

竹 田 努 議員



問 木古内川 想定外の雨量への対応が心配

答 町民に対し適切な指示を出す ——— 町長



毎年、各地域で行われている防災訓練。
災害時に対する町民意識が問われています

質 問 国内各地では、台風による大雨や竜巻等で大きな災害が発生し、尊い命が奪われるという被害が多く見受けられています。各地の被害状況を見たとき、いままでに経験したことの無い大雨や想定外の雨量を記録しており、現状の堤防で大丈夫なのでしょう

か。
万が一、木古内川の堤防が決壊した場合、JR鉄道橋下流から国保病院周辺の水害対策とあわせて、管理する部署は違いますが、町内にある各河川内の立木処理も早急に対応すべきだと思います。また、防災用品等の備蓄状況もあわせ、町長の考えを尋ねます。

大森町長 木古内川周辺の浸水想定区域の皆様には、平成20年に木古内川洪水ハザードマップを作成し配布しています。50年に一度程度起きる大雨の時間雨量は57ミリとされており、適切な判断の下で避難勧告等の指示情報を出していきます。

また、木古内川の河床の掘り下げについては、早期に実施していた、たくよう北海道に対し強く要請するとともに、町が管理する河川内の立木処理対策も順次行っていく予定です。
なお、スコップや土嚢、炊き出しセットなど、約50種類の備蓄をしています。大規模災害の場合は、災害発生から3日間は外部からの食料等の物資支援が困難になる可能性があることから、地域防災備蓄整備方針の策定に向けて協議中です。

ごみ処理手数料
無償化の考えは

質 問

11月5日開催の第7回臨時会で、職員所の不祥事について行政報告がされました。現金を扱わないという再発防止策とあわせて、特に若い子育て世帯や高齢者世帯など、町民への負担軽減策として、ごみ処理手数料を無償化にすべきではないでしょうか。

大森町長 再発防止策として、不祥事発覚後は職員による現金の回収は行わず、取扱店にお願いして役場窓口にお参りするか、金融機関からの振り込みをお願いしています。
今年度からの値下げにより、家計負担が多少軽減されたと認識しています。一定程度の住民負担は理解していただいております。無償化の考えはありません。